


実践知財コンサルティング(東京)

～実務者から学ぶ現場の知財コンサルティング～

<p>担当講師</p>	<p>・担当講師</p> <p>第1回 丹羽 匡孝(たんば まさたか) シグマ国際特許事務所 パートナー弁理士</p> <p>第2回 橋 祐史(たちばな ゆうし) 株式会社知財ビジネスリンク 代表取締役／弁理士</p> <p>第3回 松下 正(まつした ただし) 古谷国際特許事務所・弁理士</p>
<p>実施日程</p>	<p>第1回:2019年 1月24日(木) 18:30～21:15 (途中休憩15分) 弁理士会館</p> <p>第2回:2019年 2月14日(木) 18:30～21:15 (途中休憩15分) 弁理士会館</p> <p>第3回:2019年 2月28日(木) 18:30～21:15 (途中休憩15分) 弁理士会館</p>
<p>受講料</p>	<p>全3回:20,000円(税込・テキスト代込)</p>
<p>対象者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 知財キャラバン講座を修了し知財経営コンサルティングを実践している弁理士であって、次のステージに向けて経験豊富な実務者の考え方を聞きたいと思っている方 ● 知財経営コンサルティングの活動事例を聞き、クライアント企業の成長のための課題解決に知的財産を活用し、支援を行いたいと考えている方(中小企業支援を目指す弁理士は特に望ましい) ● 企業にお勤めで、企業成長に必要な課題解決に、知的財産を活用することを実践してみようと考えている方
<p>概要 ねらい</p>	<p>「知財経営コンサルティング」という言葉は、弁理士会の知財キャラバン事業などでここ数年徐々に浸透してきました。また、一般の経営コンサルティングとの違いも認識され、弁理士だから見える視点で捉えた経営課題も多くあることが分かってきました。</p> <p>しかし、知財経営コンサルティングを理解すればするほど、知財経営コンサルタントとして、企業の知財顧問として、或いは企業勤務の知財担当者として、従来の弁理士業務とは違って経営も考える広い視点で知財を捉え、企業の課題解決に繋げていくのは容易ではないと感じている方も多くあると思います。また、知財経営コンサルティングにとって必要なのは経験であろうと気付いている方も多くあると思います。</p> <p>本講座では、知財経営コンサルタントとして経験豊富な実務者の経験談に触れ、弁理士だから見える課題の捉え方、その課題を自分の得意分野で解決する手法を経験し、自分のコンサルスタイルを確立するための切っ掛けを得ることを目指します。もちろん、これらの内容は知財経営コンサルティング業務に限らず、企業の顧問弁理士や企業勤務の知財関係者にとっても知的財産の活用の幅を広げられるようになることを目指します。</p> <div data-bbox="877 1612 1484 1937"> </div>
<p>講座の 到達目標</p>	<p>本講座を受講することにより、知財経営コンサルタントとして経験豊富な実務者の活動事例を学び、自己のコンサルティングを次のステージに向上させることを目標とする。</p>

<p>形式及び内容 (予定)</p>	<p>講義およびグループ討議形式</p> <p>第1回:クライアント企業の売上の増加を題材とした知財活用 講師:丹羽 匡孝氏</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 売上増加の目標の分解 「クライアント企業の売上の増加」という汎用性のある目標について具体的な対策をイメージできる程度まで分解してみる ② 分解した目標と知的財産 分解した目標から課題を導き、解決に知的財産や知的財産情報などを用いて課題を解決する道筋を考える ③ 自身の引き出しで事例を考える 上記で考えたことを引き出しとして、実際のコンサルティング事例について具体的な提案を考える <p>第2回:知的財産の価値と知財経営コンサルティング 講師:橋 祐史氏</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 知的財産の財産的価値 「知的財産の財産的価値の戦略的意味」 ② 知財経営コンサルティングのプロセス 「知財経営コンサルティングの具体的プロセスとは」 ③ 知財経営コンサルティングの実例と知的財産の価値 「知財経営コンサルティングの過程で、知財価値をどのように使うか？」 を具体的なコンサル事例をもとに解説する。 <p>第3回:知財経営コンサルティングのメニューをどう考える? 講師:松下 正氏</p> <ol style="list-style-type: none"> ① あなたの中にも知財経営コンサルティングのメニューがある! 一般の経営コンサルティングとの違いからメニューを考えてみよう ② 事例紹介 新規事業を検討している中小企業に対して行った知財経営コンサルティングの提案と実際 ③ 失敗事例から学ぶ 職務発明規定の作成依頼があった、あなたならどんなサービスを提供する?
<p>講師 略歴</p>	<p>◆ 第1回 丹羽 匡孝 氏(シグマ国際特許事務所・パートナー弁理士)</p> <p>権利化業務と共に、経営に知的財産を活かすことができるようにするコンサルティングを提供。クライアント自身が気づききっかけを与え、発想を広げていくことができるようにするコンサルティングを得意としている。</p> <p>IPアライアンスメンバー 2006年弁理士登録 日本弁理士会(知的財産経営センター・知財経営コンサルティング事業本部)所属 千葉県出身、早稲田高校卒業、東北大学工学部卒業、東北大学大学院機械工学修士号 ダイナボット株式会社(現アボットジャパン株式会社)にて、診断薬・医薬品の製造装置の研究開発等に従事。 過去の講師経験多数。執筆記事等、詳細はウェブサイト参照(http://www.tamba-pat.com/category/1365642.html)。</p> 

◆ 第2回 橘 祐史 氏(株式会社知財ビジネスリンク・代表取締役／弁理士)



- ・NAV 国際特許商標事務所(MBA／弁理士／所長)
中小企業の知的財産を生かす経営コンサルティングを中心に活動。
 - ・IP アライアンスメンバー
 - ・2010 年弁理士登録
日本弁理士会(知的財産経営センター・知財経営コンサル事業本部)所属
 - ・福岡県出身、東京大学(法学部)卒業、筑波大学大学院(経営学修士)
 - ・筑波大学大学院(法学部)法学修士、博士課程単位取得満期退学
 - ・旭化成(経営企画部)において、繊維事業及び石油化学樹脂事業の事業企画を担当し、事業再編事業などを担当する。海外 J/V の立ち上げ、関係会社の CI 活動に携わる。
 - ・著書「設備投資タイミングの最適化に関する研究」「知的財産権侵害訴訟における特許無効の抗弁に関する研究」「集合知と知的財産権」「TPP 条約と知的財産戦略」等
- 知財コンサル等の活動詳細は、知財ビジネスリンクのウェブサイト参照 (<http://www.pabl.co.jp/>)。

◆ 第3回 松下 正 氏(古谷国際特許事務所・弁理士)



- 「クライアント共に考える joint thinking を基本的なスタンスとして、ビジネスモデル特許戦略と融合させた新規事業戦略の提唱を行なっている。ズバツと切り込む質問力を駆使して、埋もれている技術を掘り起こすことを得意としている。
- IP アライアンスメンバー 1991 年弁理士登録 日本弁理士会ソフトウェア委員会委員長、技術標準委員会委員長、近畿支部知財普及委員会委員長を歴任。神戸市出身、立教大学法学部卒業
- 金型製作会社にて金型設計業務に従事 過去の講師経験多数。詳細は下記ウェブサイト参照 (<http://www.furutani.jp/attorney2.html>)